



郵便はがき

1 0 2 8 7 9 0

2 1 9

料金受取人払郵便

1289

東京都千代田区麹町一丁目4番地

株式会社プレステージ・インターナショナル
経営企画室 IR・広報 行

差出有効期間
平成24年6月
28日まで有効

切手不要



キリトリ

株主番号 □□□□□□□□

該当する□内に✓(チェックマーク)をおつけください。

年 齢	<input type="checkbox"/> 20歳未満 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上
性 別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
ご 職 業	<input type="checkbox"/> 会社役員 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員・団体職員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 専門職(医者・弁護士等) <input type="checkbox"/> 農業 <input type="checkbox"/> 主婦・パート <input type="checkbox"/> 無職・年金生活者 <input type="checkbox"/> その他()
お住まいの 地 域	<input type="checkbox"/> 北海道 <input type="checkbox"/> 東北 <input type="checkbox"/> 関東 <input type="checkbox"/> 北陸 <input type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 近畿 <input type="checkbox"/> 中国 <input type="checkbox"/> 四国 <input type="checkbox"/> 九州・沖縄

※ 本アンケートにご記入頂きました内容は、統計的に集計し、第三者に開示することはいたしません。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 上記基準日 3月31日
 その他臨時に必要がある場合には、
 あらかじめ公告いたします。

配当金受領株主確定日 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 諸手続きに関しましては、三菱UFJ信託銀行
 株式会社のホームページをご参照の上、
 行っていただきますようお願いいたします。

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目
 10番11号
 0120-232-711(フリーダイヤル)

公 告 掲 載 方 法 電子公告

	証券会社に口座を お持ちの場合	特別口座の場合
郵便物 送付先	お取引の証券会社に なります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話 お問合せ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインバスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、みずほ信託銀行にお問合せください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんので、ご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社プレステージ・インターナショナル
 〒102-0083 東京都千代田区麹町一丁目4番地
 TEL: 03-5213-0220(代表)
 http://www.prestigein.com/



Prestige International

2011 FINANCIAL REPORT

2010.4.1-2011.3.31

ビジネス・プロセス・アウトソーシングの世界標準企業を目指して

当社グループは、創業以来、「エンド・ユーザー（消費者）の不便さ、困ったことに耳を傾け、解決に導く」という経営理念を掲げ、常に新しいサービスを創出し、成長を続けてまいりました。海外旅行者数や自動車新車販売台数の減少、IT化、グローバル化など、当社グループを取り巻く環境は大きく変わろうとしております。そういった環境に対して、当社グループは、人では解決できないBPO事業に特化することにより、様々な高付加価値サービスを創出・提案し新市場を開拓しております。また、当社グループサービスブランド「Premier」が数多くの消費者に利用され、その方々からの感謝の言葉を糧に社会に必要不可欠な企業になるべく挑戦を続けてまいります。

これからも創業時から培ってきたホスピタリティ、ノウハウ、経験と実績、そしてクライアント企業の目線でのサービス向上を担い、エンド・ユーザーの感動を追求した付加価値サービスの提供を通して、BPO事業の世界標準企業を目指します。



クライアント企業の事業拡大を図る付加価値ソリューションの提供



サービスのOEM 1

クライアント企業の
ブランド名で
サービスを提供

サービスのOEM 2

クライアント企業が
コア事業に集中する
サービスを提供

Prestige International

ロードアシスト事業

事業説明

損害保険会社や自動車メーカー向けにロードサービスを提供している事業

サービス概況

- 損害保険会社向け
ロードアシスタンスサービス
- 自動車メーカー向け
ロードアシスタンスサービス

主なクライアント

損害保険会社、
自動車会社（メーカー、販売会社）
など

インシュアランス事業

保険・保証に関する様々な付加価値ソリューションを提供している事業

- 損害保険会社向け
海外日本語アシスタンス&
海外旅行保険クレーム
エージェント事務代行全般
- 海外進出日系企業向け
ヘルスケア・プログラム
- 介護保険向け事務代行全般
- 家賃保証プログラム
- 自動車メーカー・
中古車販売会社向け
延長保証メンテナンスプログラム

損害保険会社、
海外進出日系企業、
介護事業者、
少額短期保険取扱会社、
不動産管理会社
など

CRM事業

海外・国内のコンタクトセンターを提供している事業

- 国内コンタクトセンター
アウトソーシング
- 海外コンタクトセンター
アウトソーシング
- 損害保険会社向け
24時間事故受付業務全般

損害・生命保険会社、
カード会社、
通信関連会社、
高級ブランド会社
など

カード事業

米国・香港・中国で日本人駐在員向けクレジットカード事業を展開している事業

- 海外通貨建て
クレジットカード発行/運営
（米国・香港・中国）

日系航空会社、
外資系銀行
など

プロパティアシスト事業

分譲・賃貸マンション・戸建ての占有部の一次修繕とコインパーキングのメンテナンスを提供している事業

- 不動産関連企業向け
ホームアシスト
- 駐車場管理会社向け
パーキングアシスト

不動産ディベロッパー、
不動産管理会社、
損害保険会社、
駐車場管理会社、
カーシェアリング運営会社
など

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

また、このたびの東日本大震災により被災された株主様、被災地の皆様には、心よりお見舞い申し上げると共に、被災地域の一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

ここに当社グループの第25期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

はじめに、当期（平成23年3月期）につきましては、第三次中期経営計画に基づいた売上高拡大の施策に経営資源を集中すると共に、季節要因による原価上昇、円高の影響を吸収すべく、不採算事業やサービスの見直しと原価管理の強化を図り、収益改善についても積極的な取り組みを行ってまいりました。その結果、売上高19,210百万円、営業利益2,291百万円（中期経営計画に対して100.6%、88.1%の達成率）となり増収減益となりました。

日頃当社グループの経営にご理解とご支援をいただいている株主・投資家の皆様には心よりお礼を申し上げます。また当期における株主配当につきましては、グループ全体として持続性のある高収益体制の確立を図り、成長に向けた投資への対応と安定した財務体質の経営基盤の強化を行いつ

つ配当を行うという基本方針に基づき、期末配当につきましては、1株当たり1,250円をお支払いすることに決定させていただきました。

さて、平成24年3月期につきましては、厳しい経済環境が続くと思われますが、第三次中期経営計画の2年目として、当社グループとしては事業拡大に向けて、引き続き積極的な先行投資を推進すると共に、既存事業の競争力を更に高めるべく事業の深堀りと高付加価値サービスの提供を図り、外部環境に左右されない当社独自のサービス開発を継続的に行っていく予定であります。

皆様の期待にお応えできるよう、グループ企業の役員・従業員一丸となり、継続的な成長に向け努力してまいりますので、株主・投資家の皆様には変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社プレステージ・インターナショナル
代表取締役

玉上 進一



第三次中期経営計画

ビジョン

BPO事業創造会社として、当社グループのクライアント企業の目線での事業開発を積極的に推進し価値創造を行い、他社との差別化をより強固なものにする。また新市場開拓をテーマにグローバル化の積極的展開と、既存事業のノウハウを活かした新たな価値創出を実現し、事業の拡大及び収益性の更なる改善を図る。

方針

- セグメント変更による経営資源集中一
- 選択と集中一
- リーディングカンパニーとしての戦略投資一

2012年3月期ポイントについて

売上高

成長事業への積極的な投資

- ロードアシスト事業、プロパティアシスト事業のサービスネットワークの拡大
- インシュアランス事業において、新興国への拠点拡大の先行投資を計画

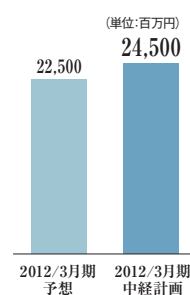
営業利益

引き続き不採算サービスの見直し、システム化による業務効率の向上を促進

2012年3月期における予想と中期経営計画との差異

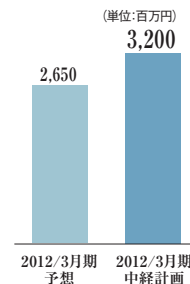
売上高

- インシュアランス事業の家賃保証プログラムにおいて、当初の計画を下回るため、696百万円の減収
- CRM事業において新規事業の受託遅延により、503百万円の減収
- オーストラリア現地法人の不採算部門閉鎖に伴い、計画時に折り込み済みの284百万円が減少



営業利益

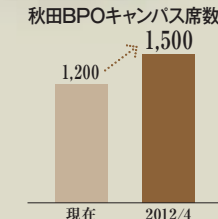
- 家賃保証プログラムにおける再保険料上昇により、492百万円減益
- CRM事業において、新規事業の受託遅延により、161百万円、オーストラリアの不採算部門の閉鎖に伴い97百万円の減益



秋田BPO キャンパスサテライト

建設概要

第三次中期経営計画の達成に向け、現在秋田BPOキャンパスの1,200席体制を1,500席まで拡張。

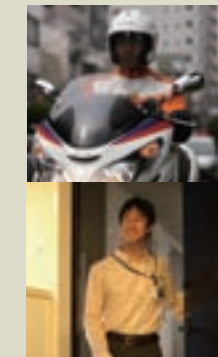


2012年4月稼働予定の秋田BPOキャンパスサテライトの建設

p5-6をご覧ください

フィールドワーク 専門子会社

成長事業と位置付けるロードアシスト事業、プロパティアシスト事業のフィールドワーク専門子会社への先行投資を継続的に実施し、サービスネットワークの拡大を積極的に推進。



フィールドワーク専門子会社の拠点拡大

p7をご覧ください

第三次中期経営計画の進捗

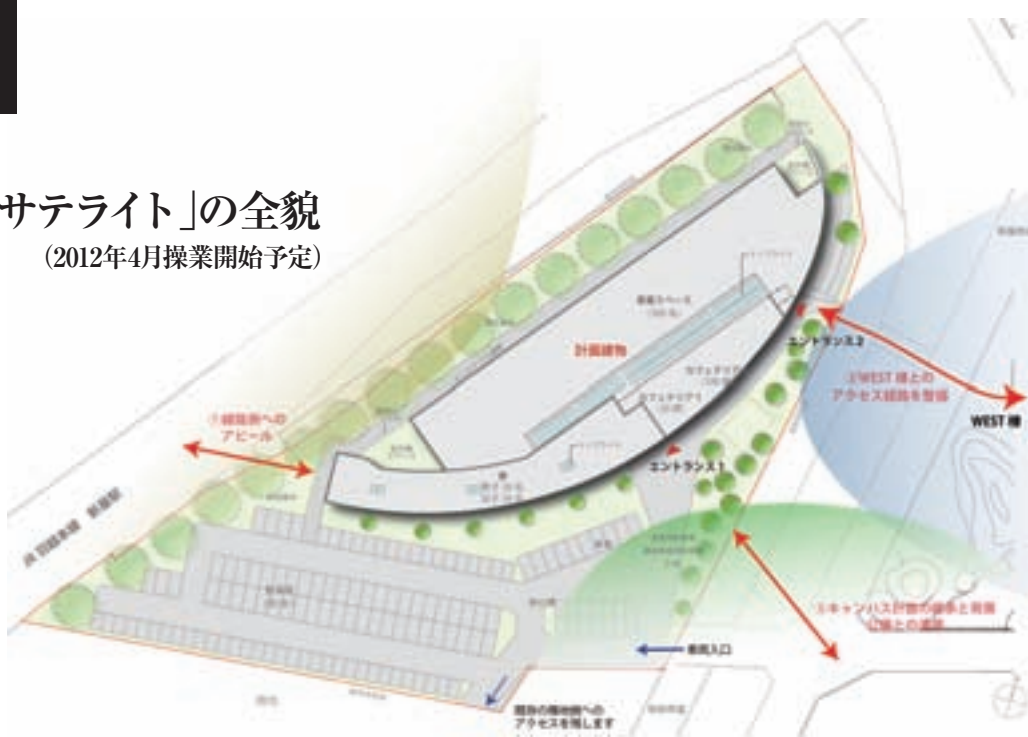
計画の1年目として、売上高拡大を目的に事業の選択と集中並びに戦略的先行投資に傾注。その結果、営業利益は計画を下回るものの、売上高は計画通り推移。

p7-8をご覧ください

「秋田BPOキャンパス サテライト」の全貌 (2012年4月操業開始予定)

秋田BPOキャンパスにおいて、2012年4月操業開始予定の「秋田BPOキャンパス サテライト」は、女子・男子寮を併設し、24時間365日サービスを提供する当社の従業員が快適に安心して働ける環境を追求した設計となっております。外観デザインは、既設の秋田BPOキャンパスの丸みの形状と自然光を取り入れる設計を継承しております。

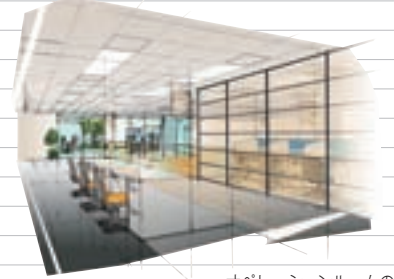
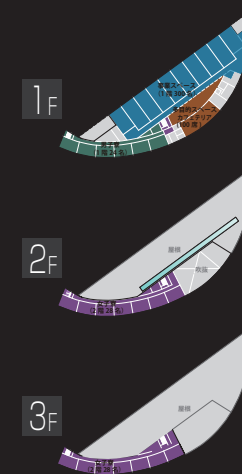
付加価値あるワークプレイスを整備し、社員が笑顔で、大切なお客様に付加価値サービスを継続的に提供することが可能になります。



- 1 既存 WEST 棟へのアクセス経路を整備
- 2 キャンパス計画の継承と発展、南東側公園との連携
- 3 線路側への企業アピール



寮個室
内観イメージ



オペレーションルームのイメージ

各事務室入口で個別にセキュリティーの設定が可能です

多目的スペース上部にはトップライトを設け、建物内に光と風を導入します

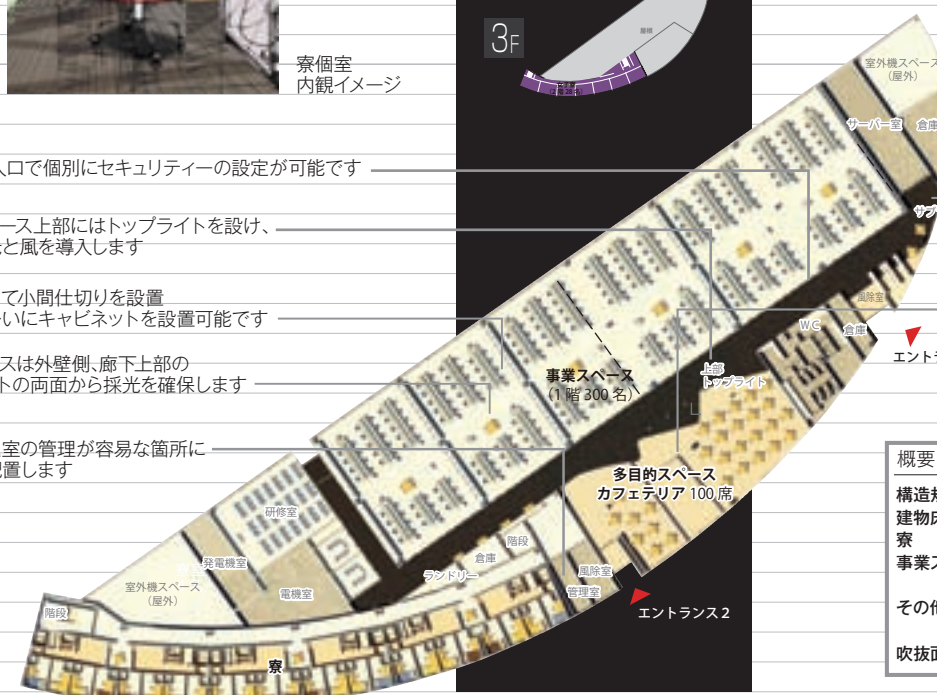
業態に応じて小間仕切りを設置
間仕切り沿いにキャビネットを設置可能です

事業スペースは外壁側、廊下上部のトップライトの両面から採光を確保します

寮への入退室の管理が容易な箇所に管理室を配置します

事業スペースの近傍にリフレッシュスペースを設置します

カフェテリアと一体的に利用可能な多目的スペース
大人数で利用が想定される昼食時にも十分対応可能なスペースを確保

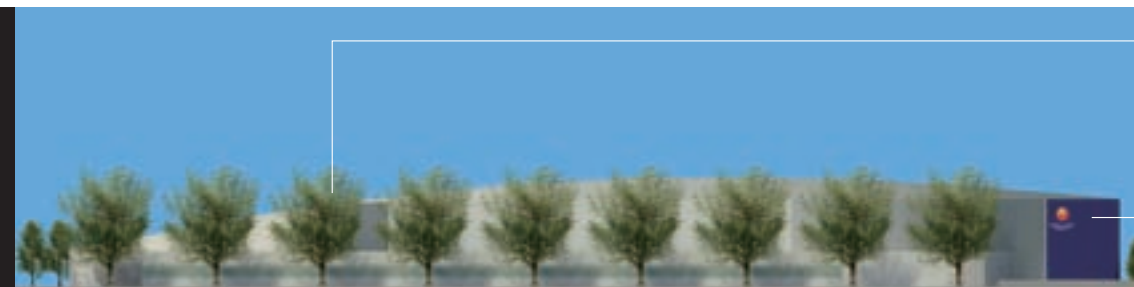


概要	
構造規模	鉄骨造3階建 直接基礎
建物床面積	3,800㎡
寮	1,750㎡ 男子: 24名 女子: 56名
事業スペース	1,550㎡ 300席、事務室部分
その他共用部	3.5㎡/名
吹抜面積	500㎡
	多目的スペース、カフェテリア、機械室等
	350㎡ カフェテリア、寮



南東側の外観には既存EAST、WEST棟との親和性の高い曲面形状を採用します

公園側からの視認性の良い位置にコーポレートサインを設置します



既存樹木を最大限利用し、執務エリアに対する効果的な西日対策を行います
冬季の北西からの風雪対策にも利用します

JR 駅から視認性の良い位置にコーポレートサインを設置します

フィールドワーク専門子会社の状況

フィールドワーク専門子会社である株式会社プレミアアシスト東日本、株式会社プレミアアシスト西日本、株式会社プレミア・プロパティサービスのネットワークを全国の主要都市に展開し、受付からフィールドワークスタッフまでの接客力を軸とした品質の向上とスケールメリットを活かし+α戦略で事業拡大しております。

全国に当社直系のネットワークを張り巡らせマーケットシェア拡大を図ります

●ロードアシスト事業拠点

(株)プレミアアシスト東日本
(株)プレミアアシスト西日本

●プロパティアシスト事業拠点

(株)プレミア・プロパティサービス



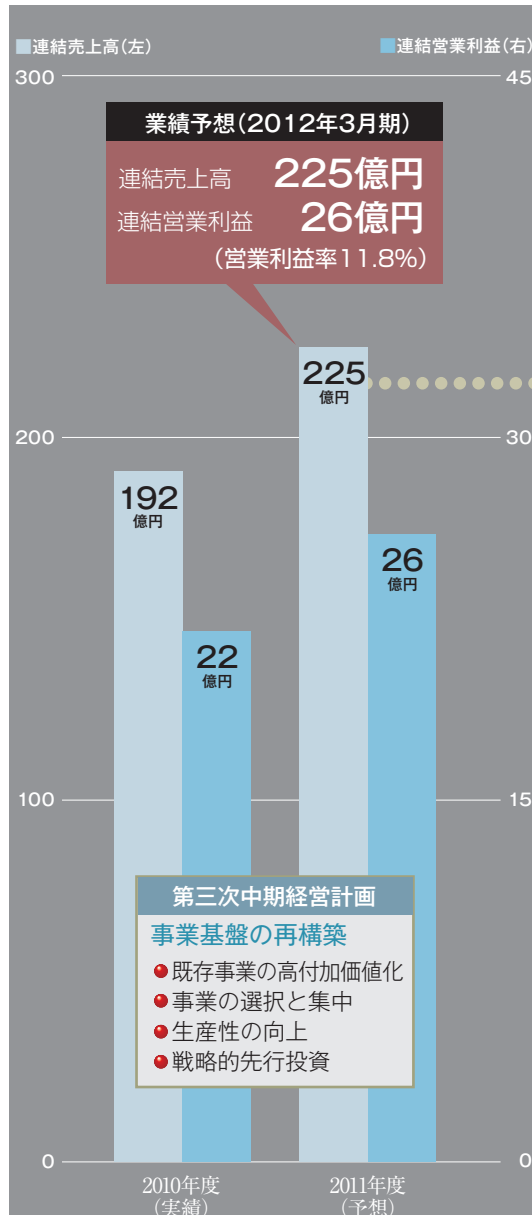
ロードアシスト事業拠点状況

	2010年度 (実績)	2011年度 (目標)	2012年度 (計画)
拠点数	34拠点	36拠点	75拠点
車両数	172台	180台	220台
従業員数	189名	230名	250名
出動件数(当社)	170,000件	190,000件	200,000件

プロパティアシスト事業拠点状況

	2010年度 (実績)	2011年度 (目標)	2012年度 (計画)
拠点数	3拠点	5拠点	5拠点
車両数	39台	63台	83台
従業員数	69名	111名	162名

2012年3月期 事業別業績予想と施策



第三次中期経営計画

事業基盤の再構築

- 既存事業の高付加価値化
- 事業の選択と集中
- 生産性の向上
- 戦略的先行投資

ロードアシスト事業

2012年3月期予想

売上高
103億1百万円

営業利益
12億81百万円

- 引き続きロードサービスの認知度向上を背景に、サービスの利用増加を見込む
- 既存クライアント企業である損害保険会社に対して全自動車保険にロードアシスタンスが付帯されるよう営業強化を図り、増収を目指す
- フィールドワーク専門子会社(プレミアアシスト東日本・西日本)の都道府県1拠点化においては、進出地域の既存対応件数やサービス拠点の採算性を勘案しつつ、より効率的な運営ができる地域において拠点拡大並びに車両投資を計画
- 2009年度に導入した新システムを更に進化させるべく、アンドロイド端末をフィールドワーク専門子会社及び協力会社に導入し、更なる業務の効率化を図る

インシュアランス事業

2012年3月期予想

売上高
56億56百万円

営業利益
3億27百万円

- 自動車メーカー・中古車販売会社向けの延長保証メンテナンスプログラムにおいて、販促強化が売上高増加に寄与する見込み
- 海外進出日系企業向けのヘルスケア・プログラムにおいて、新規クライアント企業獲得10社を目指し、損害保険会社との協力体制を強化
- 家賃保証事業の子会社においては、再保険料の上昇により費用増加となるが、原価の管理体制強化を継続的に実施すると共に、契約更新手数料収入による売上高増加を見込む

CRM事業

2012年3月期予想

売上高
28億68百万円

営業利益
4億42百万円

- 事故受付業務において既存受託業務の拡大を見込む
- 国内において通販関連とインターネット関連業務が引き続き順調に推移すると共に新規クライアント企業の獲得及び新サービスの利用促進に注力する
- 既存クライアント企業からの新規業務の受託を目指し、営業を強化
- 新規事業及びサービス創出に向け、経営資源を投入する計画

カード事業

2012年3月期予想

売上高
14億17百万円

営業利益
3億47百万円

- 「東日本大震災」により、海外駐在員が各国への渡航時期を遅延、香港・中国の現地居住者による日本への余暇を目的とした日系航空会社の利用減により、カード会員の新規入会が一時的に減少する見込み
- 航空会社の利用減による影響を補うため、堅調に拡大しつつある米国地域における独自ブランド「プレミアオカード」の販促を強化
- 既存会員並びに休眠会員に対するカードの利用促進を図る施策を実施
- 引き続き、業務効率化の向上と原価管理を強化

プロパティアシスト事業

2012年3月期予想

売上高
15億27百万円

営業利益
1億48百万円

- 不動産向けサービスにおいては、前期に採算を狂わせていたサービスの委託単価見直しの完了に伴い、収益改善が見込める
- 既存クライアント企業である大手不動産ディベロッパーの高級分譲マンションへのサービス対象件数が増加する予定。また、新たなクライアント獲得のために拡販も引き続き強化
- 駐車場管理会社向けサービスにおいて、前期に獲得した新規クライアント企業に対して、サービス提供地域の拡大により売上高増加が見込める
- フィールドワーク専門子会社プレミア・プロパティサービスにおいて、前期の名古屋・大阪に引き続き、札幌・仙台・横浜・福岡にも拠点を新設計画

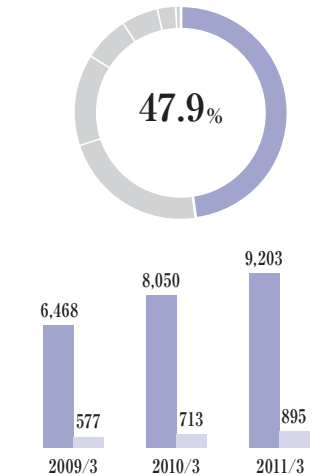
部門別事業名

売上高構成比(%)

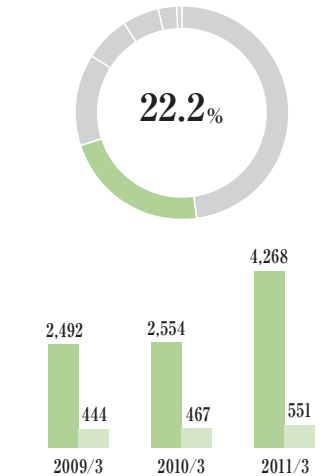
売上高/営業利益の推移(単位:百万円)

売上高(左側) 営業利益(右側)

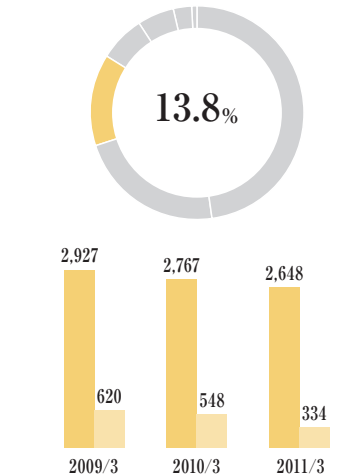
部門別決算ハイライト



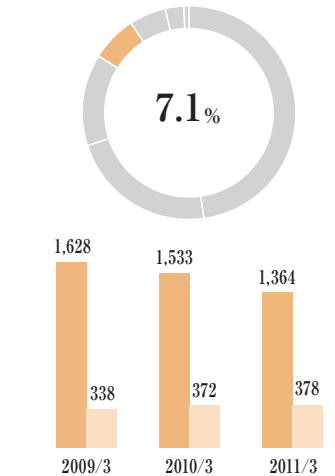
- 損害保険会社向けサービスにおいて既存受託業務が成長したことなどにより増収となりました。
- 営業利益につきましては、大雨・猛暑・降雪等の季節要因によるサービスの利用増加と子会社における拠点拡大の設備投資等の費用を吸収し増益となりました。



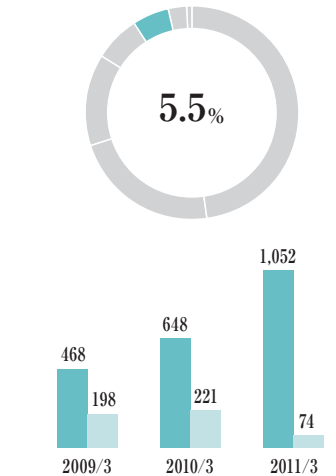
- 2010年2月に買収した子会社の売上高計上と延長保証メンテナンスプログラム、少額短期保険関連業務が順調に成長したことにより増収となりました。
- 営業利益につきましては、少額短期保険関連業務及び海外進出日系企業向けヘルスケア・プログラムの堅調に推移し、子会社の原価増加を吸収したことにより増益となりました。



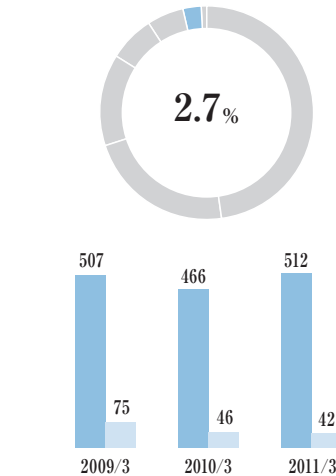
- 国内において、既存の通販関連サービス及びインターネット関連事業が堅調に推移しましたが、前期におけるアジア・オセアニア地域での大口案件の業務終了と景気低迷の影響により減収となりました。
- 営業利益につきましては、新規サービスの受託が計画を下回ったこと、アジア・オセアニア地域での大口案件の業務終了により減益となりました。



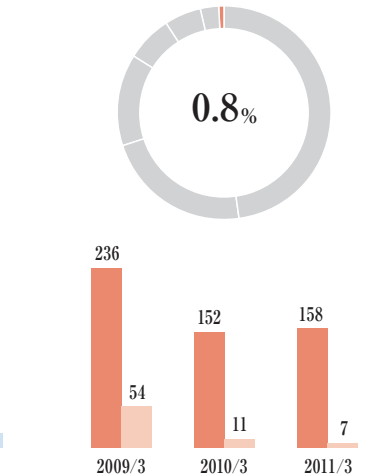
- カード会員数は、前年同期比で米国4.9%、香港10.3%、中国21.2%増加いたしました。円高の影響などにより減収となりました。
- 営業利益につきましては、円高による減収要因があったものの、業務の効率化が費用抑制につながったことにより増益となりました。



- 不動産向けサービスにおいて新規受託業務及び契約当たりのサービス対象件数の増加と駐車場管理会社向けサービスにおいて、新規クライアント企業からの受託業務が増加したことにより増収となりました。
- 営業利益につきましては、サービス利用に伴う費用増加、新規受託業務の立ち上げ費用や子会社における設備投資等が発生したことにより減益となりました。



- IT関連子会社の既存事業が堅調に拡大したことにより増収となりました。
- 営業利益につきましては、既存事業の人件費が増加したことにより減益となりました。



- 当期より開始した研修サービスの新規案件を獲得したことにより増収となりました。
- 営業利益につきましては、研修サービスの強化に伴う人件費が増加したことにより減益となりました。

2010/3以前数値はセグメント変更後数値に置き換えて掲載しております。

2010/3以前数値はセグメント変更後数値に置き換えて掲載しております。

連結貸借対照表(要約)

科 目	当期 2011/3/31現在	前期 2010/3/31現在
資産の部		
流動資産	9,644	8,365
固定資産	2,731	2,778
有形固定資産	1,505	1,642
無形固定資産	384	382
投資その他の資産	841	753
資産合計	12,375	11,143

(単位:百万円未満切り捨て)

科 目	当期 2011/3/31現在	前期 2010/3/31現在
負債の部		
流動負債	4,295	3,954
固定負債	329	254
負債合計	4,624	4,208
純資産の部		
株主資本	8,089	7,127
その他の包括利益累計額	△350	△196
少数株主持分	12	3
純資産合計	7,751	6,934
負債純資産合計	12,375	11,143

連結損益計算書(要約)

科 目	当期 2010/4/1~2011/3/31	前期 2009/4/1~2010/3/31
売上高	19,210	16,174
売上原価	14,957	12,083
売上総利益	4,252	4,091
販売費及び一般管理費	1,961	1,701
営業利益	2,291	2,390
営業外収益	106	67
営業外費用	37	23
経常利益	2,360	2,434
特別利益	13	307
特別損失	393	244
税金等調整前当期純利益	1,980	2,497
法人税、住民税及び事業税	859	901
法人税等調整額	9	5
少数株主損益調整前当期純利益	1,111	—
少数株主利益又は少数株主損失	△33	2
当期純利益	1,145	1,587

(単位:百万円未満切り捨て)

連結包括利益計算書

科 目	当期 2010/4/1~2011/3/31	前期 2009/4/1~2010/3/31
少数株主損益調整前当期純利益	1,111	—
その他の包括利益	△153	—
その他有価証券評価差額金	3	—
為替換算調整勘定	△157	—
包括利益	957	—
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	991	—
少数株主に係る包括利益	△33	—

(単位:百万円未満切り捨て)

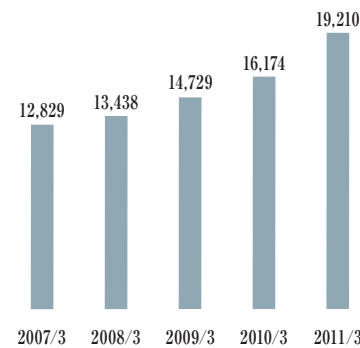
連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

科 目	当期 2010/4/1~2011/3/31	前期 2009/4/1~2010/3/31
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,612	1,603
投資活動によるキャッシュ・フロー	△900	△1,291
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23	△270
現金及び現金同等物に係る換算差額	△107	20
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	582	61
現金及び現金同等物の期首残高	4,036	3,974
現金及び現金同等物の期末残高	4,618	4,036

(単位:百万円未満切り捨て)

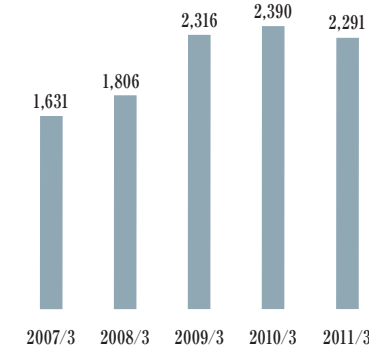
(単位:百万円未満切り捨て)

売上高



(単位:百万円未満切り捨て)

営業利益



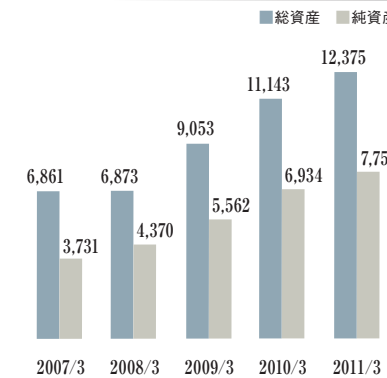
(単位:百万円未満切り捨て)

経常利益/当期純利益



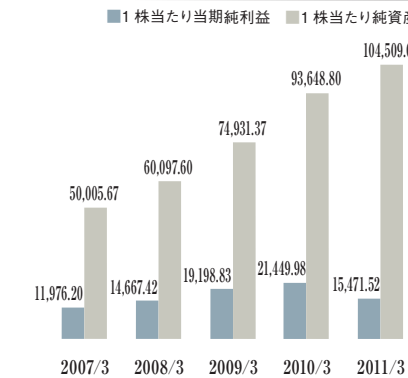
(単位:百万円未満切り捨て)

総資産/純資産



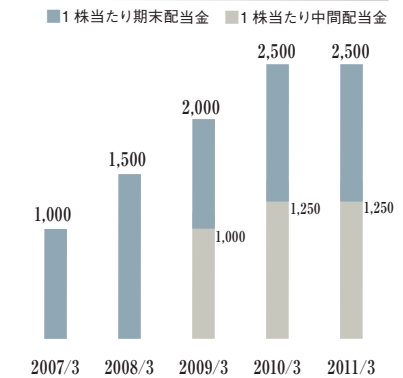
(単位:円)

1株当たり当期純利益/1株当たり純資産



(単位:円)

1株当たり配当金



会社概要 (2011年3月31日現在)

会社名 株式会社プレステージ・インターナショナル
Prestige International Inc.
設立 1986年10月
資本金 9億8,647万円
本社所在地 〒102-0083 東京都千代田区麹町一丁目4番地
事業内容 ビジネス・プロセス・アウトソーシング
従業員数 1,629人(連結)
拠点 世界13ヶ国 16拠点
URL http://www.prestigein.com/

ネットワーク (2011年3月31日現在)

秋田BPOキャンパス 〒010-1633 秋田県秋田市新屋島木町1-172
幕張BPOセンター(幕張支店) 〒261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-1

子会社

国内
Prestige Humansolution Inc.
Time Commerce Co., Ltd.
Premier Assist East Inc.
Premier Assist West Inc.
All Assist Inc.
Premier Property Service Inc.
Entrust Inc.
Premier Network Inc.

北米・欧州
Prestige International USA, Inc.
Prestige International U.K. Ltd.

アジア・オセアニア
Prestige International (S) Pte Ltd.
Prestige International China CO., LTD.
PRESTIGE INTERNATIONAL (THAILAND) CO., LTD.
Prestige International (HK) Co., Limited
PRESTIGE INTERNATIONAL AUSTRALIA PTY LTD.

関連会社

Premier Lotas Network Inc.
CRS Inc.
Triple Ace Inc.



会社役員 (2011年3月31日現在)

代表取締役 玉上進一
取締役 八久保勝也
取締役 白崎真一
取締役 橋本幹夫
取締役 関根浩
取締役 中村干城
常勤監査役 吉田範夫
監査役 盛岡治英
監査役 三上純昭
監査役 神門いづみ

株式の状況 (2011年3月31日現在)

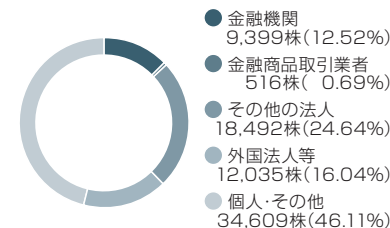
発行可能株式総数 266,880株
発行済株式総数 75,051株 (うち自己株式1,000株)
株主数 1,618名

大株主

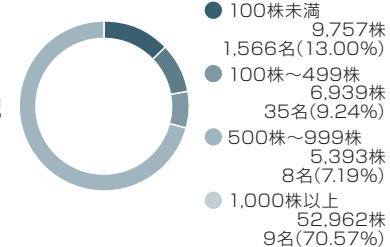
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
玉上進一	16,444	22.21
株式会社南部エンタープライズ	11,240	15.18
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,460	8.72
株式会社タマガミインターナショナル	6,394	8.63
南部靖之	4,000	5.40
メロンバンク エヌエー トリーティー クライアント オムニバス	3,356	4.53
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,314	3.12
ザバンク オブ ニューヨーク トリーティー ジャステック	1,754	2.37
バンク オブ ニューヨーク シーイーエム クライアント アカウント ジェイビーアールティ アイエスジー エフイーイーイー	882	1.19
ジェーピー モルガン チェース バンク ルクセンブルク 385134	844	1.14

※ 持株比率は、発行済の普通株式の総数から自己株式(1,000株)を除いて計算しております。

所有者別株式分布状況



所有数別株式分布状況



株主の皆様へアンケートのお願い

当社では、株主の皆様の声伺い、株主様とのコミュニケーションの充実を図っていきたくと考えております。お手数をおかけしますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

【株主の皆様へのアンケート】

- Q1. 当社をどこでお知りになりましたか?
① 証券会社 具体的に []
② 新聞・雑誌記事 具体的に []
③ Webサイト・メールマガジン
④ 会社説明会(IRセミナー)・IRイベント 具体的に []
⑤ 知人の紹介
⑥ その他 具体的に []
- Q2. 当社の株式を購入された理由は何ですか?(複数回答可)
① 配当 ② 株価 ③ 事業内容 ④ 経営理念
⑤ 収益性 ⑥ 将来性 ⑦ 財務内容 ⑧ 証券会社の勧め
⑨ その他 []
- Q3. 当社の株式を最初に購入したのはいつ頃ですか?
■ 購入時期 平成 [] 年 [] 月頃
- Q4. 当社株式を最初に購入して以降、売却されたことはありますか?その理由は何ですか?
① ある ② ない
理由 []
- Q5. 当社の株式の保有について、今後どのような方針をお持ちですか?
① 売却 ② 長期保有 ③ 買い増し ④ 未定
⑤ その他 []
- Q6. 2011 FINANCIAL REPORTで興味を持った記事はどれでしょうか?(複数回答可)
① イントロダクション ② 株主の皆様へ ③ 新設秋田BPOキャンパス サテライト
④ 第三次中期経営計画-戦略的概況 ⑤ 中期経営計画進捗状況
⑥ 事業別業績予想と施策 ⑦ 事業別業績サマリー ⑧ 連結財務諸表
⑨ 会社概要 ⑩ 株式情報 ⑪ 株主様アンケート
⑫ その他 []
- Q7. 当社または本株主通信についてご意見・ご希望があれば自由にご記入ください。